

# 我が学びや

令和8年3月5日  
白川小 学校便り No.7

文責:校長 村上剛史

**学校教育目標:** 自他を大切にし、学び合いを楽しみ、高め合う子どもの育成

**重点取組:** ①人が元気になる言葉、人がうれしい気持ちになる言葉をつかおう

②自分がされて嫌なことは、絶対に人にしない

## ◆4年生が福祉体験学習

4年生が取り組む総合的な学習の時間のテーマの一つに「福祉」があります。子どもたちは、それぞれが設定した探究テーマに沿って、聞き取りや現地調査などの調べ学習を進めています。その学びをさらに深めるために、ゲストティーチャーをお招きし、「高齢者体験」と「障がい者キッズサポーター研修」を実施しました。

体験から得られる“気づき”や“思い”は、学習の大切な財産です。今回の活動で感じたことを、自分の言葉でしっかりとまとめ、今後の探究に生かしてほしいと思います。

■2月24日「高齢者体験」 講師：ささえりあ天神、市社会福祉協議会  
・高齢者についての講話、装具体験、動作体験など

■2月27日「障がい者キッズサポーター研修」 講師：市障がい者支援センターウィズ  
・障がいについての講話、視覚障がいの体験



## ◆校内造形展～自己回復力・共感力が動き出す～

2月17日（火）～20日（金）の期間、図工室において校内造形展を開催しました。

1年生「あそぼうよ パクパクさん」

2年生「かぶってへんしん」

3年生「トントンくぎうち コンコンビー玉」

4年生「ゆめいろランプ」

5年生「伝言板ホワイトボード」

6年生「生き方をかたちに」

授業参観の折には、大変多くの保護者の皆様に図工室へ足を運んでいただき、ありがとうございます。お子さまの作品や学習の様子について、ご家庭でも話題にさせていただけたことと思います。

本校では「非認知能力」の育成、とりわけ自己回復力（レジリエンス）と共感力を高めることに全校で取り組んでいます。今回、各学級で時間を設けて校内造形展の鑑賞活動を行いました。その際、担任はこの2つの力の育成を視点とした授業を行い、声掛けや対話の仕方にも工夫を凝らしました。

子どもたちは、自分の取り組みを振り返ったり、友達から作品への感想や評価をもらったりすることで、自己回復力が動き出します。また、友達の作品や出品票を見て、その人の思いや工夫に気付こうとすることで、共感力が育っていきます。

本校では、このように日々の学習の中で非認知能力を育む実践を進めています。

今後とも、本校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## ◆熊本市学校体育優良校受賞

本校では、令和5年度より教科体育の授業改善に継続して取り組んでまいりました。さらに昨年度は、「豊かな心と健やかな体の育成～心と体の元気づくり～」を研究主題とする健康教育モデル校として、教科体育以外の取組を新たに推進するとともに、体育授業の一層の充実と深化を図ってきました。

このたび、こうした本校の実践が評価され、熊本県内2校のうちの1校として「学校体育優良校」を受賞することができました。

今回の受賞は、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様が本校の教育活動に深いご理解と温かいご協力を寄せてくださったおかげであり、心より感謝申し上げます。

この受賞を励みに、今後も質の高い授業づくりに努め、「心と体の元気づくり」をさらに推し進めてまいります。変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## ◆“学校のきまり”の見直し

校則や学校のきまりは、「集団生活の中でルールを守ることを学ぶ」とか、「学校としての秩序を保つ」、「健康安全面への配慮」というような役割を果たしています。

熊本市では、令和3年度から「自分たちの決まりは、自分たちでつくって、自分たちで守るという民主主義を身に付けながら、自ら判断し行動できる児童生徒を育成すること」に取り組んでいます。自分の意見を伝えながら、他者の考えにも耳を傾け、より良い考えを生み出そうとしたり、少数意見を大切にしたりしようとする。みんなで「どうすれば一人一人が納得できるか」という視点で考え話し合いを重ねることを通して、自分の意見が通らないことがあっても、折り合いをつけること。こういうことを学んでいくことが期待されます。また、「自分たちで決めた学校のきまりだ」という意識や納得感が高まることで、きまりを遵守していこうとする意識も高まっていくと考えます。

これまで、生活委員会を中心に見直しの話し合いをする準備を進め、学校の決まりを見直す取り組みを進めてきました。今回は、「シャープペンの使用」について、何度も話し合いを重ね、今年度を試行期間としてフィードバックを行いました。その結果について、先日、お知らせしてアンケートによってご意見を寄せていただきました。

3月4日の児童集会で、生活委員会が経緯と留意事項を説明し、校長が「4月から、5・6年生はシャープペンを使ってもよい」とした見直しの承認を周知しました。あわせて、「人が大切にしているものを大切にする」という価値観について、講話をしました。